













郡っ子まなび通信

夏休み号

いよいよ夏休み! やりたいことがたくさんあってワクワクしますね! ですが、勉強のことも忘れてはなりません! 1学期初めてのテストは、どうでしたか? 満足いく結果や厳しい結果で「やったー!」「悔しい、、、」などいろんな思いをしたことでしょう! しかし、その時の気持ち、もうすでに忘れそうになっていませんか? 2学期以降も実力テストから始まり、皆さんの学習は続いていきます! 授業が大事、そして授業で得たものを確実に自分の力にするためには、家庭学習が大事! みなさんの学習をサポートするために「郡っ子まなび通信」今年度も発行していきます!

◎まずは各教科のおススメ勉強法!(①号より)

	<ul style="list-style-type: none"> ①漢字の学習 漢字小テストに向けての漢字練習 ②語句の意味調べ(辞書やタブレット使用) ③教科書の音読 ④文法・ワークの学習(eライブラリの活用) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ①その日に学習した内容を見直す(特に公式や重要語句・性質の意味は確実に理解する) ②授業で間違えた(解けなかった)問題を解き直す ③ワーク→授業で学習した内容のページを補充学習として行う ④過去のテストで、間違えた問題を解き直す→苦手なパターンの問題の克服に努める ⑤その単元で学んだ要点をまとめ、学習内容を整理する 	
	<ul style="list-style-type: none"> ①教科書→重要語句に下線を引きながら読む。書いて覚える。歴史の学習の際は、時系列で覚える ②ノート・ワークシート→見直す ③ワーク→正解するまで繰り返し解く(漢字で正確に書く) ④小テスト→覚えるまで何度も解き直す ⑤eライブラリ・配布プリント→より多くの問題を解き、基礎力・応用力をつける 	
	<ul style="list-style-type: none"> ①授業→常に疑問を持って取り組む ②教科書→授業後に毎回復習する ③ワーク→各章終了後に取り組み、基礎の定着を確認する ④練習問題→eライブラリ等で多くの問題を解き、応用力をつける 	
	<ul style="list-style-type: none"> ①単語→ノートに練習する(例:発音しながら/自分でテスト/単語カード) ②音読→正しい発音を確認しながら練習する(できればQRコードを使って正しい発音を確認) ③解き直し(反復)→ワークで間違えた問題(例:ノートにくり返し書く/eライブラリで復習) 	

●勉強とは「できない」を「できる」にすること (詳しくは⑥~⑧号で)

勉強をただただ作業としてやるだけ、知らず知らずのうちにこんなことをしていませんか...

問題を解いても、答え合わせをしない

答え合わせをしないと、そもそも「何ができないのか」を知ることはできません。そして、間違えた問題の解き直しをしないと、「できるようになったか」をチェックできません。

問題を解く→答え合わせをする→解き直しをしてやっと「勉強」になる。

とにかくひたすら英単語を書いている

「英単語は書いて覚えましょう」ということはよく言われます。でも、必死に書いている単語...本当は数回書いた時点で覚えてしまっているかもしれません。できることを繰り返しやっても、それは勉強にはなりません。

数学も同じです。解ける問題だけ解いてもそれは勉強にはなりません。「できない」ことを「できる」にする時間にしましょう。

e ライブラリの活用方法について紹介していきます！小学生から中学生までの各教科を自由に学習できるので、予習・復習にピッタリです！毎日コツコツ学習しましょう！

◎活用方法を紹介します！（詳しくは②～⑤号で）

①★教科書ページで検索！（教科書ページでドリルや解説教材を検索！授業の復習や定期テスト前の学習におススメ！）



【活用のポイント！】
検索するページ数が多すぎると、読み込みに時間がかかる場合があります。10ページ前後を目安に検索しよう。

※教科書ページでの検索は、小学校は「算数・社会・理科」
中学校は「数学・英語・理科・地理・歴史・公民・保健・技術・家庭」の教科で検索が可能です。

②★解説教材・確認問題を活用しよう！（単元の要点がわかりやすくまとめられた「解説教材」は、ドリルに取り組む前の準備学習におすすぬ！「確認問題」でスピーディに要点チェックもできる！）

③★テーマ学習を活用しよう！（学年の枠を越えて系統別に取り組めるコンテンツです。算数・数学のコースは「計算マスター」「ずんずん図形道場」など全18コース！苦手分野・弱点を克服しよう！）

例えば 小数の計算が苦手・・・ ▶▶ 小数のどこでつまづいてるんだろう？

④★リスニング問題で聞き取る力をつけよう！

（英語のドリルには、教科書の進度に合わせて学習できる中1～中3の「リスニング問題」があります！入試によく出る出題形式にも対応！リスニング力の向上を目指しましょう！）

⑤★ドリル学習を活用しよう！（パソコン・タブレット・スマホでも利用ができる！） ⑥★いろいろカード帳で楽しく学習！

② 学年 → 教科 → 単元 → 教材 → レベル（基本・標準・挑戦）の順に選択します。

③ 1問ずつ解いたら[判定]し、全問解いたら[採点]します。

（暗記ツールに便利なデジタル版カード帳を 4,000 枚以上収録！フラッシュカードとしても使えるので、暗記や知識の定着におススメ！）

今回紹介したものをより詳しく知りたい人は、郡中学校のホームページに昨年度のまなび通信①～⑧号を掲載しているので、チェックしてみてください！

「夏休みの頑張りが今後の学びの土台を作り、
やがて大きな成長につながります！」

ほどよいリフレッシュをしつつ、しっかりと勉強に励み、充実した夏休みにしましょう！